

環境経営レポート

2020年版

<2020年9月1日～2021年8月31日>



日信商工株式会社

2021年10月25日発行



エコアクション21[®]

認証番号0012660

目次

1. 会社概要	3
2. 環境経営方針	4
3. 推進体制	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	7~8
6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容	9~13
7. 環境関連法規制の遵守状況	14
8. 安全活動	15
9. その他環境活動	15~16
10. 代表者による全体の評価と見直し	17

1. 会社概要

■ 概要

- (1) 社名
日信商工株式会社（英文表記：NISCO CO.,LTD）
- (2) 所在地（本社・工場）
〒335-0032
埼玉県戸田市美女木東2-2-2
- (3) 代表者
代表取締役社長 関口 良平
- (4) 設立
1967年11月
- (5) 資本金
1,000万円
- (6) 事業規模
売上高：954百万円（2020年度）
従業員数：本社30人 熊本事業所12人（2021年8月20日時点）
床面積：本社520㎡ 熊本事業所131㎡
- (7) 事業内容
半導体製造装置機器部品及び関連装置機器の開発設計と製造販売
クリーンルーム内設備機器の開発設計と製造販売
テフロン等フッ素樹脂、その他樹脂溶接・加工
タンク、槽、容器、器具類の開発設計と製造販売
耐薬品用ポンプ、耐薬品制御用バルブの開発設計と製造販売
ガススクラバー開発設計と製造販売
- (8) 環境管理責任者及び担当者
責任者：横塚 雅人
連絡先：TEL 048-421-1234
FAX 048-422-0175
URL <http://www.nissin-nisco.co.jp>

■ 沿革

- 1967年11月 東京都板橋区にて日信商工株式会社設立
埼玉県戸田市に営業所及び工場を建設し
半導体製造装置機器部品の開発設計と製造販売を開始
- 1977年9月 第2工場を建設
- 1986年11月 現在地の戸田市美女木工業地区に新工場建設・移転
- 1987年4月 上記同地に本社・営業機能を移転
- 1988年3月 台湾国策による半導体製造工場建設へ参画
- 2014年2月 クラス1000クリーンルームを設置、運用を開始
- 2016年3月 島津製オートグラフを導入、運用を開始
- 2021年4月 本社工場において再生可能エネルギー100%電力の使用を開始

2. 環境経営方針

『地球人としての取組み』

当社は、樹脂製品製造業の事業を通じて環境保全を配慮して行動することを経営の重要課題の一つとして捉え、次の行動指針を定めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 化学物質使用量の削減及び適切な管理
- ③ 廃棄物の削減および再資源化の推進
- ④ 排水量の削減
- ⑤ グリーン購入の推進
- ⑥ 提供する製品・サービスにおける環境配慮
- ⑦ 事業活動に伴う環境関連法規の遵守
- ⑧ 環境に配慮した新規事業の創出
- ⑨ 地域環境を良くするための活動の実施

先に定めた指針の中で①～⑦は定常活動であり、環境保全に関するより一層の共有知識化を推進します。活動実績が数値上のみで推移している現状、各グループによる活動のプレゼンテーションや新たな取組みに対し、表彰制度の導入等、活動実績を明確にして行きます。

また、⑧の環境配慮型新規事業の創出を具現化出来る様に、新たに推進室を設定します。



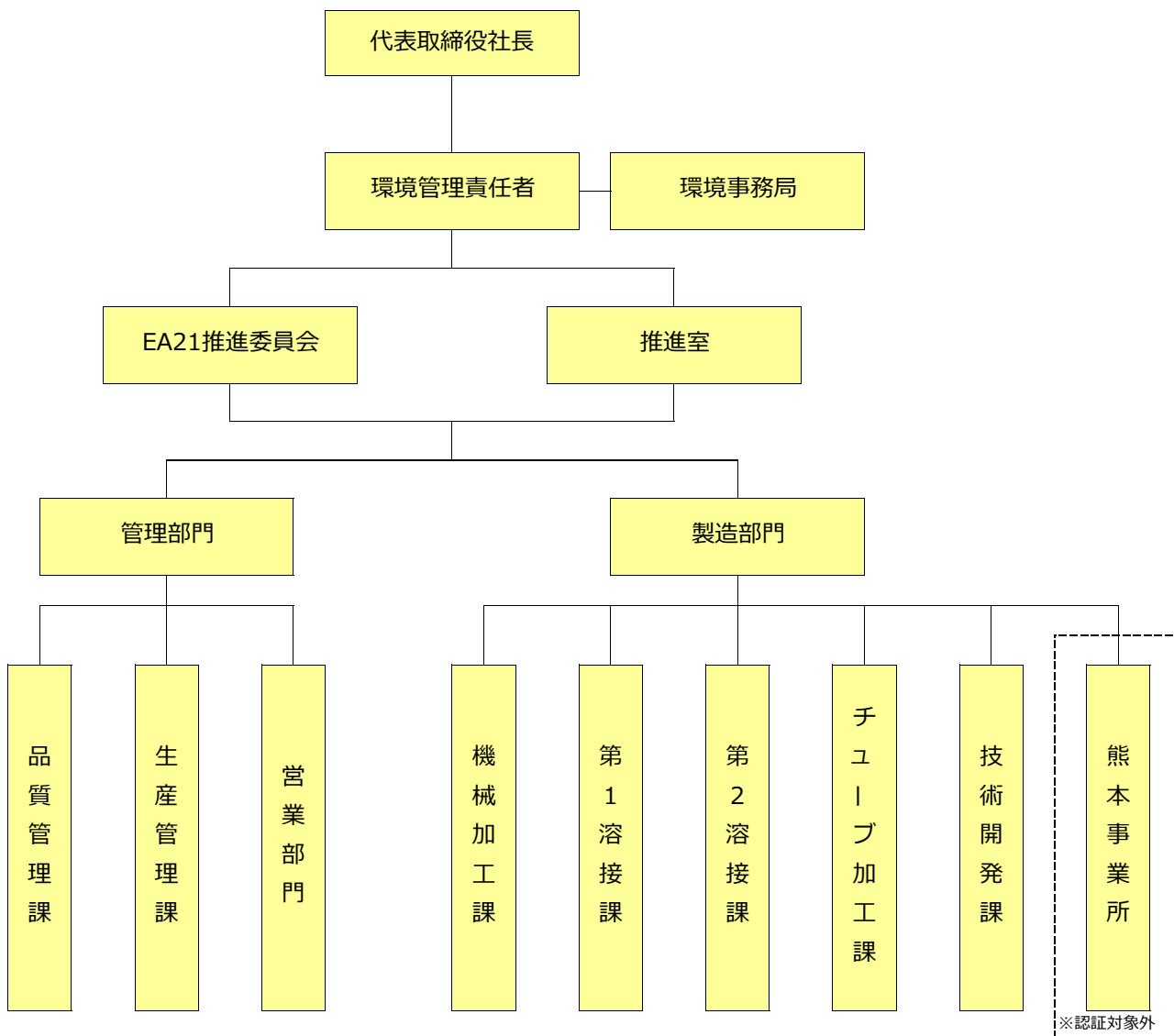
制定日：2017年10月1日

改訂日：2020年8月30日

日信商工株式会社

代表取締役社長 関口 良平

3. 推進体制



本社・工場（埼玉県戸田市）

4. 環境経営目標

2017年度の環境負荷の実績を基準として、2018年度～2022年度までの環境目標を次のように設定した。

	環境目標	単位	基準年度 実績	2018年 目標	2019年 目標	2020年 目標	2021年 目標	2022年 目標
CO2 排出量	CO2排出量	(kg-CO2)	54,686	53,592	52,499	51,405	50,311	49,217
			2017年度比⇒	△2%削減	△4%削減	△6%削減	△8%削減	△10%削減
		(kg-CO2)/百万円	70.75	69.34	67.92	66.51	65.09	63.68
			2017年度比⇒	△2%削減	△4%削減	△6%削減	△8%削減	△10%削減
	電力	(kWh)/百万円	137.4	136.1	134.7	133.3	131.9	130.6
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減
ガソリン	(ℓ)/百万円	1.41	1.40	1.38	1.37	1.35	1.34	
		2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減	
廃 棄 物	事業系一般廃棄物	(kg)	3.13	実績把握とする	3.10	3.07	3.04	3.00
			2018年度比⇒		△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減
	産業廃棄物	(kg)/百万円	12.40	実績把握とする	12.28	12.15	12.03	11.90
			2018年度比⇒		△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減
	有価物	(kg)/百万円	12.40	実績把握とする	12.28	12.15	12.03	11.90
			2018年度比⇒		△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減
水	上水使用量	m ³	378.0	374.2	370.4	366.7	362.9	359.1
			2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減
グリーン購入率	%	22	25%以上	27%以上	29%以上	31%以上	34%以上	
		基準年度比⇒	1.15%増	1.25%増	1.35%増	1.45%増	1.55%増	
製品サービスの環境 配慮 (梱包資材の削減)	(¥)/百万円	1,150	1,139	1,127	1,116	1,104	1,093	
		2017年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減	
化学物質の適正管理	(回)	実績把握とする 実績値 9.4	ラッカーシ ナーの使用率 50%減	年一回のリス クアセスメントを 実施	年一回のリス クアセスメントを 実施	年一回のリス クアセスメントを 実施	年一回のリス クアセスメントを 実施	
多能工技術者の育成	(人)				多能工化に向 けたシステム構築 をする	多能工技術者 育成開始	多能工技術者 1人	

二酸化炭素排出係数：0.474kg-CO2/kWh（調整後排出係数）

※平成28年度実績 公表：平成29年12月21日 東京電力エナジーパートナー(株)

5. 環境経営計画 (1/2)

		活動内容
二酸化炭素排出削減に関するもの	電力使用量の削減	エアコンの設定温度が守られているか確認する(冷房：28度以上、暖房：20度以下)
		外気浸入による熱、冷機損失を防ぐ処置をする
		室外機の冷却対策(よしず、日陰、散水など)をする
		窓に断熱シート(エアキャップなど)を貼り付け、熱のロスを防ぐ
		クールビズ、ウォームビズなど服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑える
		天井埋め込み型エアコンの吹き出しにファンなどをつけて風を攪乱させる装置を導入する
		3ヶ月に1回エアコン、照明器具の掃除を行う
	ガソリン使用量の削減	設備の定期点検と予防保全を実施する
		定期点検（タイヤ空気圧・オイル交換）を実施する
		車両記録に、走行距離と給油量を記入し、燃費実績確認による意識付けをする
廃棄物排出量削減、材料の歩留まりの向上に関するもの	事業系一般廃棄物の削減	エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止など）を励行する
		エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止など）を励行する
		駐停車中のエンジン停止などを励行する
		機械加工課の不具合による納期遅延を減らし、持ち込み納品をしない
		3S（整理・整頓・清掃）活動を推進する
		加工ミスによるロスの低減に努める
		マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動を行う
	有価物（廃PFA、PTFE量）の削減	従業員などにマイバッグ運動を呼びかける
		製品の回収に繋がるクレームの発生を撲滅するため製品の品質管理に努める
		廃棄物を見える化する（量、金額、委託先など）
梱包資材の削減	廃棄物の処分先を定期的に、直接、確認する	
	毎月廃PFA、PTFE量を記録し、各月毎の見直しを行う	
	端材を整理し、材料を有効に使用できるようにする	
梱包資材の削減	簡易包装の推進、多重包装の見直しを推進する	
	緩衝材、段ボールを再利用する	
	梱包資材の一部を、グリーン購入へ切り替える取り組みをする	

5. 環境経営計画 (2/2)

		活動内容
グリーン調達に関するもの	グリーン購入の推進	再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し使用する
		詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用を進める
水使用量削減に関するもの	上水使用量の削減	節水を促す啓発ポスターを制作し水場に掲示し、手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する
		作業に支障のない範囲で、節水をできる洗浄方法などを模索し、それらの作業をルール化して運用する
		生産工程で使用する水を再利用するための設備を設置し、活用している
化学物質使用量削減に関するもの	化学物質使用量の抑制及び管理	社内にて使用する化学物質のその種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録、管理する
		社内にて使用する化学物質のSDS最新盤を年1回入手し、それを管理する
		入手したSDS最新版のコピーを、その化学物質の使用場所に設置する
		洗浄薬品などは、交換頻度を見直しを行い、使用量の削減に取り組んでいる
		使用する化学物質についてリスクアセスメントを実施する
その他の環境活動に関するもの	環境コミュニケーション	ウェブサイト上で環境に関する情報を提供する等、消費者などに対して情報提供や啓発活動を行っている
	社会貢献	地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力や支援を行っている
		環境に関連する表彰制度を実施する
		会社周辺を定期的に清掃する
		敷地内の緑化を行う（大気浄化、都市気象の緩和にも資する）
		ペットボトルキャップの回収を定期的に行い、寄付する(資源の再利用を行う)
人材育成	多能工技術者の育成	スキルマップによるスキル見える化をする 評価基準を検討する

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■再生可能エネルギー100%電力への切り替え



この度、当社で使用している電力をアスエネ株式会社が提供している再生可能エネルギー100%の電力へと切り替えを行いました。



「持続可能な社会」や「カーボンニュートラル」の実現に向け、再生可能エネルギー100%の電力に切り替えることにより当社でも貢献できると考え切り替えに至りました。

今後も自分たちにできることを少しずつ実行し環境負荷軽減に貢献できればと考えています。

アスエネは、「次世代によりよい世界を」をミッションに、2020年5月末よりブロックチェーンを用いた 再エネ100%×地産地消×コスト削減が特徴のクリーン電力サービス『アスエネ』を提供している企業です。

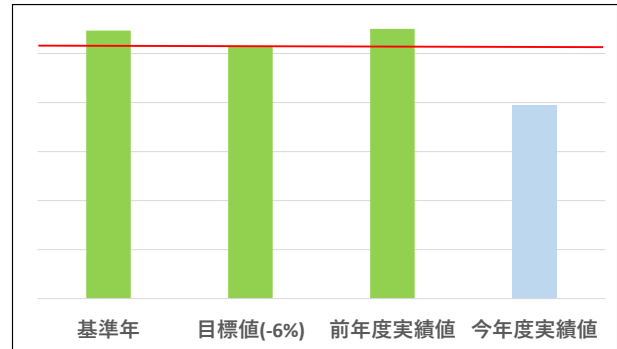
再エネ100%とは、ブロックチェーン活用の弊社独自のトレーサビリティシステムと共に非化石証書を調達することで「実質再エネ100% / CO2排出係数ゼロ」の電力を提供する予定です。実績は、年度ごとに報告いたします。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ CO2排出量の削減(総量評価) 単位：kg-CO2)

達成状況:○

基準年	54686
目標値(-6%)	51405
前年度実績値	55038
今年度実績値	39437



評価

今期は、4月に再生可能エネルギー100%の電力への切り替えがあり大幅に削減でき目標も大幅に達成することができました。

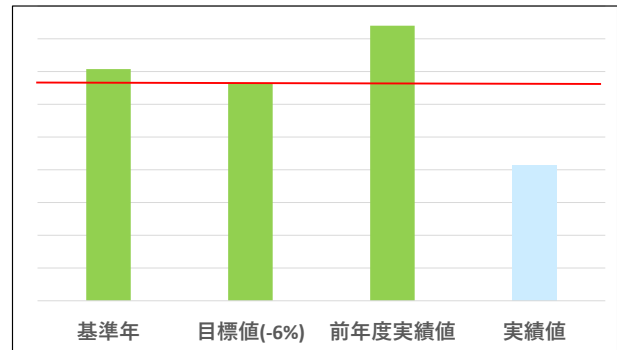
次年度の取組み

来期からはガソリン使用による排出量のみとなりますが、引き続き削減できるように活動していきます。

■ CO2排出量の削減(原単位評価) 単位：(kg-CO2)/百万円)

達成状況:○

基準年	70.75
目標値(-6%)	66.51
前年度実績値	83.99
実績値	41.35



評価

総量評価と同様となりますが、原単位では更に大幅な受注増により達成率も増えました。

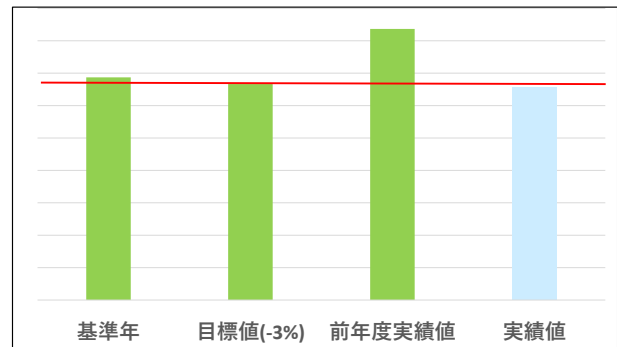
次年度の取組み

総量評価と同様にガソリン使用における排出を削減する活動をしていきます。

■ 電力使用量の削減(原単位評価) 単位：(kWh)/百万円)

達成状況：○

基準年	137.4
目標値(-3%)	133.3
前年度実績値	167.3
実績値	130.9



評価

今年度は3月からの仕事増加に伴い、使用電力が増加してしまいました。ただ、原単位評価達成できたことはポジティブにとらえたいと思います。また、今年一番のトピックは4月より電力を再生可能エネルギー100%の電力に変更したことです。

次年度の取組み

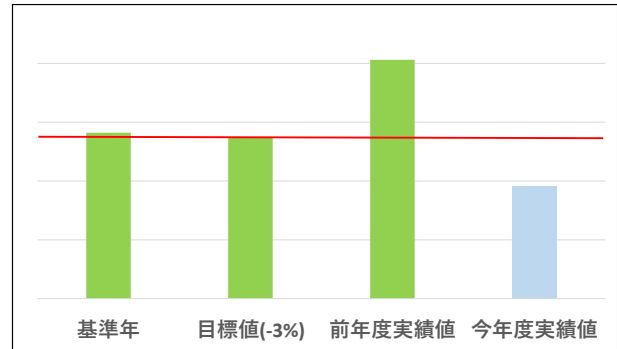
来期では、使用電力の見える化を進め、節電に対する意識をより高めていきたいと思っています。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ ガソリン使用量の削減(原単位評価 単位：(ℓ)/百万円)

達成状況：○

基準年	1.41
目標値(-3%)	1.37
前年度実績値	2.03
今年度実績値	0.96



評価

課題であった不要な持ち込み等は減少傾向にある。新型コロナウイルスの影響により客先訪問など営業的な外出回数が大幅に減ったことにより今期では大幅な削減に至ったと考えられる。

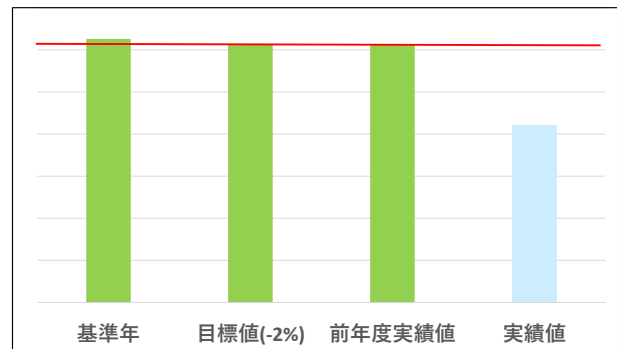
次年度の取組み

今期より引き続き、不具合の減少や納期調整を行い不要な持ち込み等を“0”にする。

■ 事業系一般廃棄物の削減(原単位評価 単位：(kg)/百万円)

達成状況：○

基準年	3.13
目標値(-2%)	3.07
前年度実績値	3.06
実績値	2.11



評価

材料の供給不足により分納が増えて、その分、段ボールの重量が増加傾向であった。ただ、許容範囲内で収まってくれたので問題なく達成できた。

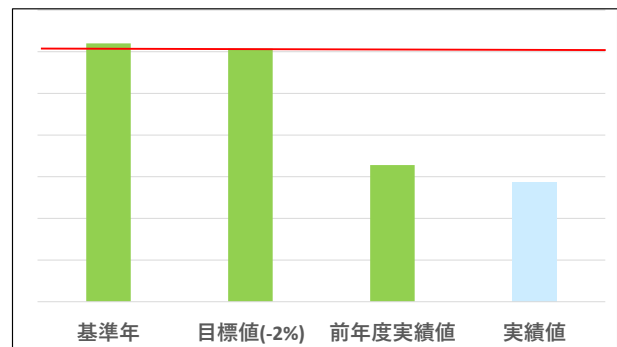
次年度の取組み

更なる削減を目指すために、廃棄→リサイクルに移行できるように検討をしていきます。パーセンテージの高い段ボールから検討をしていきます。

■ 産業廃棄物の削減(原単位評価 単位：(kg)/百万円)

達成状況：○

基準年	12.4
目標値(-2%)	12.2
前年度実績値	6.56
実績値	5.75



評価

前年度までで不要な物の廃棄がほぼ完了したのもあり問題なく達成できたと思います。

また、7月より有価物に切り替わった材料もあり今後はその重量分が減るのでより削減されると思います。

次年度の取組み

来期も今までやってきたことを続けていけば問題なくたっせできると思います。

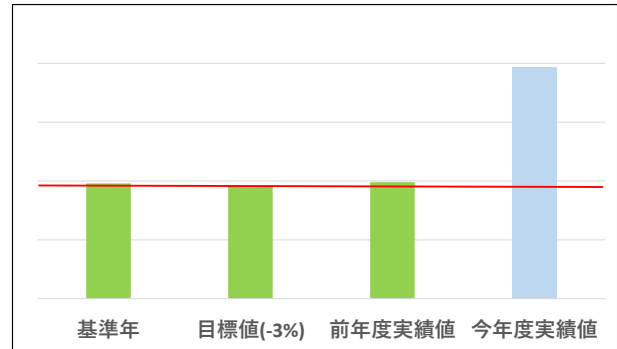
「不要な物を買わない」、「不具合を出さない」など。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ 有価物の削減(原単位評価 単位：(kg)/百万円)

達成状況:✕

基準年	0.98
目標値(-3%)	0.96
前年度実績値	0.99
今年度実績値	1.97



評価

廃棄量、廃棄回数ともに基準年を大きく上回ってしまったので達成できなかった。

理由としては受注増により有効活用しきれない端材が大幅に増えたためと新たな材料が回収対象となったためと思われる。

次年度の取組み

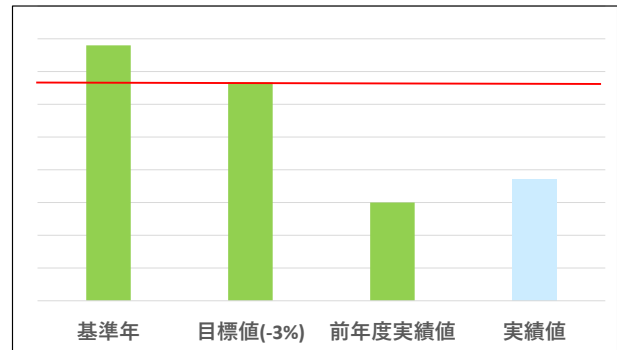
来期は新たに回収対象になった材料があるため実績把握を行います。

また材料取りが適切な寸法で行われているか見直しを行います。

■ 上水使用量の削減(総量評価 単位：m³)

達成状況:○

基準年	378.0
目標値(-3%)	366.7
前年度実績値	330.0
実績値	337.0



評価

目標は達成できているが、材料の供給不足により水を多く使用しなくてはならない状況があった為に前年度より多くなってしまった。

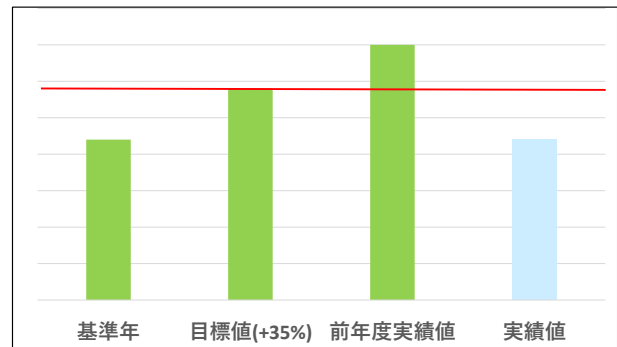
次年度の取組み

新たに節水強化月間を定め、短期集中的に節水の意識を更に高める取組みをします。

■ グリーン購入の推進(総量評価 単位：%)

達成状況:✕

基準年	22
目標値(+35%)	29
前年度実績値	35
実績値	22



評価

新型コロナウイルスの影響により年間通して消毒等の衛生用品の購入が多かった。また、作業場レイアウト変更により棚等の購入も重なり目標達成できなかった。

次年度の取組み

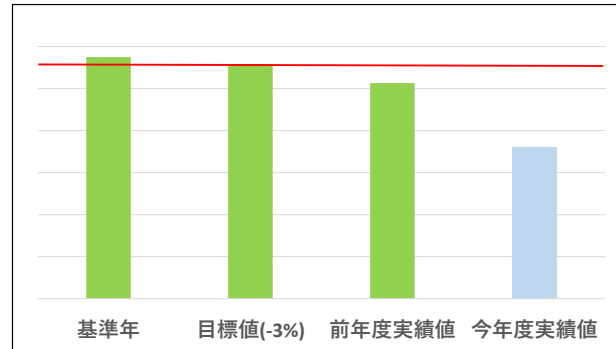
グリーン購入品のリスト化やグリーン購入品への切り替えが可能なものが無いか見直しを行い、目標達成できるようにする。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ 梱包資材の削減(原単位評価 単位：(¥)/百万円)

達成状況:○

基準年	1150
目標値(-3%)	1116
前年度実績値	1026
今年度実績値	723



評価

客先要求により梱包方法の変更でテープの使用は増えたが、大きく実績に影響するほどではなかった。

次年度の取組み

現状、梱包作業は熟練作業者による作業が多かった。その為、ルール化を行い他の作業者でもエコな梱包ができるようにする。

■ 化学物質の適正管理(総量評価 単位：回)

達成状況:○

基準年	—
目標値	1
前年度実績値	1
実績値	1

評価

前年度よりリスクアセスメントを実施し、今期も実施できた。
日々、取り扱いにも注意を払っており事故等は発生していない。

次年度の取組み

薬品類を適切に管理し来期以降もリスクアセスメントの実施と事故防止に努める。

■ 人材育成

達成状況：○

基準年	-
目標値	-
前年度実績値	-
実績値	-

評価

今期では、スキル見える化や評価基準についてなど多能工技術者育成の為のシステム構築を主に行った。

次年度の取組み

来期からは多能工技術者の育成を開始し、2022年度より育成の達成を目指す。

7. 環境関連法規制の遵守状況

1. 廃棄物、リサイクル

関連法規見直し日 2021年3月13日

遵守評価日 2021年7月1日

【評価】 遵守：○、不遵守：×

廃棄物処理法、市廃棄物処理と再生利用条例		条項	実施状況	評価
一般	許可業社と契約し、委託しているか	6条の2	株式会社クリーンシティと契約書あり	○
	市の分別基準を遵守しているか		遵守している	○
契約	収集業者との処分業者と個別に契約しているか	12条	株式会社クリーンシティ・株式会社FUJIの契約書あり	○
	委託品目が許可されているか	〃	許可されている	○
マニフェスト	B2票、D票は90日以内に、E票は180日以内に返っているか	〃	返ってきている	○
	マニフェストを5年間保管しているか	〃	保管している	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	〃	提出している	○
保管	種類、管理者名、保管量を表示しているか	〃	表示している	○
	飛散、流出、悪臭がない様にしているか	〃	している	○
資源有効利用促進法		条項	実施状況	評価
廃パソコン、廃携帯電話の回収をメーカーに依頼したか			期間中廃棄なし	○
自動車リサイクル法		条項	実施状況	評価
自動車リサイクル券があるか		-	車検証内にあり	○
廃車時に自動車引取業者に渡したか		8条	期間中廃棄なし	○
家電リサイクル法		条項	実施状況	評価
家電を廃棄するときに料金を支払い、リサイクル業者に渡したか（家電リサイクル券があるか）		6条	期間中廃棄なし	○

2. 公害（大気関係）

自動車NOx・PM法		条項	実施状況	評価
ディーゼル車はNOx・PM対応車か（車検証で確認する）		12条	車検証で確認済	○

3. 温暖化、化学物質、関連法規

フロン排出抑制法		条項	実施状況	評価
業務用エアコン、冷媒機器類を廃棄するときに、登録しているフロン回収業者に回収させたか		19条	期間中廃棄なし	○
フロンマニフェストを3年間保管しているか		20条の2	委託確認書の確認	○
室外機及び室内機の点検		16条	簡易点検実施済	○
グリーン購入法		条項	実施状況	評価
グリーン購入法購入に積極的に取り組んでいるか		5条	エコアクション21で取り組んでいる	○
グリーン購入比率、又は購入件数の目標を設定し取り組んでいるか		8条	エコアクション21で取り組んでいる	○
道路運送車両法		条項	実施状況	評価
自動車の使用者	定期点検を行っているか（例 自家用トラック：6ヶ月に1回、乗用車：1年に1回）	48条	実施している	○
	点検整備記録を車両に備えているか	48条	備えている	○
水銀使用製品産業廃棄物		条項	実施状況	評価
廃水銀等が適正に処理されているか		8条	エコアクション21で取り組んでいる	○
リスクアセスメント		条項	実施状況	評価
リスクアセスメントを実施しているか		57条の3	エコアクション21で取り組んでいる	○

4. 県条例、市条例

埼玉県生活環境保全条例		条項	実施状況	評価
アイドリング	アイドリングストップを行っているか	40条	行っている	○
戸田市生活環境保全条例		条項	実施状況	評価
廃棄物	廃棄物の処理その他の公害を防止	5条	行っている	○

手順 1. 環境管理責任者は法規の制定、改定の情報に注意を払い、法規の改定に応じて本表を改定する。

使用停止後3年間保管

2. 環境管理責任者は毎年3月頃までに遵法性をチェックして、本表に記入する。

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や告訴も1件も発生しておりません。

安全活動

■ 緊急事態の対応及び訓練状況

火災発生時訓練（2020年11月6日実施）

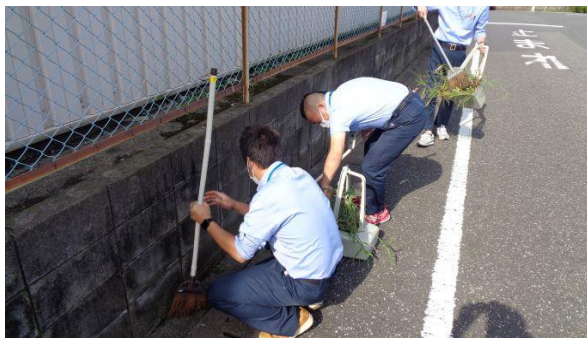
4回目の消防訓練。

戸田市の消防士さんに来ていただき、通報訓練、避難訓練、水消火器による模擬消火訓練を実施しました。



その他環境活動

■ 会社周辺の清掃を月一回、社員全員で清掃活動を行っています。



その他環境活動

- ペットボトルキャップ回収と寄付を行いました。
(2021年8月24日までの回収分)

ペットボトルキャップの寄付が2回目も行えたことはとても嬉しく思います。
今後もこの活動が続けられるように頑張っていきたいと思っております。

キャップ実績レポート

日信商工株式会社 様

このたびは「キャップの貯金箱推進ネットワーク」の活動にご協力頂きましてありがとうございます。皆様の温かいお心に感謝申し上げます。

■ 今回のご提供キャップ (2021/08/25 分) (回収分)

重量	個数(概算)	預かり寄付金
11.76 Kg	5,056 個	117 円
ワクチン種類	一人分の価格	合計
ポリオ(小児麻痺)	約 20 円	約 5.85 人分

※1kg=約430個=約¥10の計算になります。
上記の数値はご提供いただいたキャップを売却した際の数字ですので市場動向により変動することがあります。また、ワクチンはポリオ以外にBCG(約¥7)・はしか(約¥95)・MMR(約¥114)・DPT(約¥9)など、あります。
寄付金額(重量×10円)は一時お預かりしたあと、後日「世界の子どもにワクチンを日本委員会」様へ送金いたします。

CO2換算 37.04 kg の削減に繋がりました。

※CO2の換算方法は、キャップ1kg(約430個)をごみとして焼却するとCO2が3150g発生しますので、重量(kg)×3150gで計算しています。

■ これまでの合計

総重量 24.11 Kg

■ 障がい者施設からのお礼

皆さんのおかげで楽しくお仕事をしています。
ありがとうございます。



柏の葉(立川市)
天成舎(国立市)
こだち(狛江市)
おおやま(板橋区)
バオバブ(東久留米市)

今後とも「キャップの貯金箱」運動にご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人
『キャップの貯金箱推進ネットワーク』

※排出権価格・石油量・原油価格の換算について
価格の変動が多いため、換算値の計算が難しいので、今回からは表示していません。
申し訳ございませんが、ご了承下さい。

代表者による全体の評価と見直し

【環境経営方針】

3期目に入り、各グループ間での意識差が生じていることは否めない。本活動の意義を深く理解していないもので、定期的なワークショップ等を行い、周知する必要がある。また、新規加入社員への導入研修時、本活動の意義、目的、実行、達成と系統立てて説明する必要がある。一人ひとりの活動意識により、環境経営の社会に置けるスタンスの優位性、強いて言えば、自らのスタンスに優位に働くことを理解する。社会がコロナ渦の大変な状況において、数値に縛られず、目的意識を高く持つことで、実行・達成出来る様に積算するほかない。

【環境経営目標及び環境経営計画】

目標とすべきは現状より変化を起こすことで、既存取組みは着実に小さな変化点を見落とさず、把握、共有、実行を繰り返すこと。現状は、売上規模も大きくなり、各セクションでの数値目標が基準となる適切な数値であるか見極める必要がある。原単位での達成は出来ているが、売上に依存している数値とみるに等しい中、適切な基準値を把握し、全員で共有し、課題解決に向け実行すること。また、新入社員も増えているもので、本活動の意義、目的をしっかりと説明し行動出来る社内環境作りも必要である。

【環境経営システムの各要素】

常に変革を起こす企業風土の醸成が根幹です。小さな一歩がやがて路を成すことを信じ、地域社会に貢献出来る様、行動すること。

代表取締役社長

関口 良平